

平成25年度 事業計画・収支予算 決定!!

3月22日(金)午後1時30分より当所ホールにおいて開催されました臨時議員総会において、平成25年度事業計画・同収支予算が原案のとおり決定されました。また、常議員4名(9ページ)を選任、ご就任いただきました。

“現場ニーズ”による経営環境を整備しよう!

とし、私たちのまちは市制70周年、開港100周年という大きな節目の年を迎えました。

相変わらずたいへん厳しい経営環境ですが、舞鶴商工会議所に集う私たちは、未来に繋がる活路を見出して、地域社会の担い手としてその役割を果たさなければなりません。

商工会議所の役割は、会員企業はもとより地域全体の声に常に耳を傾け、地域に密着し柔軟な調整力をもった地域唯一の総合経済団体として、地域産業全体の振興発展を図っていくことにあります。

会議所の強みは、なんといってもビジネス現場に最も近いことであり、今、企業が何を考え、やっているかを常に把握し、企業のニーズを明らかに出来るのは商工会議所であると自負しています。

そして、行政や他の経済団体などと一体となって、やる気と能力を持ち、創意工夫をしながら努力している多くの経済人の夢や目標が実現できるように、真の「現場のニーズ」に基づいた経営環境を整備していきたいと考えています。

このことをしっかりと踏まえて、商工会議所本来の役割である**行政や企業、市民の橋渡し**をすることで持続可能な経済・生活基盤の構築に努め、「企業、地域、さらには広く社会全体から、より多くの支持と信頼がいただける商工会議所」としてさらに機能アップすることを目指します。

平成25年度の当商工会議所の運営にあたっては、地域の経済と雇用を支える中小企業を活性化し、元気な企業を増やしていくことを目標に、現場に立脚した活動を鋭意進めることで、「会員になって良かった」と実感していただけるように努めてまいります。

基本方針

1. 企業活動を通じて地域に貢献

私たちのまちに元気な企業を増やすことで、豊かなまちづくりに貢献したいというのが私たちの願いです。

そのためには、地域の未来についてその在るべき姿を描き、みんなが共有できる夢や目標をしっかりと持って、この舞鶴の地に、人・もの・情報が絶えず流れ込んでくる仕組みをつくるのが大切です。

舞鶴市においては、新しい総合計画に基づいて「東アジアに躍動する国際港湾・交流都市」の実現に向けた力強い歩みが続けられています。また、京都府では「海の京都」をテーマに北部地域に対して強力な振興対策が検討されています。

平成26年度中に舞鶴若狭自動車道や京都縦貫道が全線開通し、京阪神・中京・北陸などの経済圏と結ぶ高速道路網が完成します。また、京都舞鶴港には、大型クルーズ船が引き続き入港することが決まっており、国際フェリー定期航路の開設に向けても積極的な取り組みがなされています。

このように、近い将来、京都府北部に「人・もの」の流れが飛躍的に増えることが見込まれることから、私たちのまちに“新しい時代”が到来しようとしています。

ある部会では、「金曜日はカレーの日」プロジェクトと連動する形で「農水商工連携」をキーワードに舞鶴産の食材をふんだんに使った“舞鶴カレー”の提案を考えています。また、「舞鶴ごちそう展」の復活にも取り組んでおり、舞鶴の豊かな旬(季節)の食材を最大限に活かす地元の“匠の技”をアピールしたいと取り組んでいます。

商店街の再生には、消費者を引き付ける物語や仕組みを工夫することが大切です。いつの時代もお年寄りから子供まで「ここでなら休日を過ごしてもいいな」と思える場所は大切です。そういうところでは財布のひもも少しは緩みます。誰もが自分なりのささやかな“ストーリーを紡ぐ場所”を求めています。

今、まちの賑わいを取り戻そうと、一生懸命に取り組む商店や商店街の人たちがいます。そして「100円商店街」や「金曜日はカレーの日」、「シル